

今週のお祈り
大齋節第3主日特禱

全能の神よ、どうかあなたを呼び求め、
僕らの願いをみ心に留め、力あるみ手を差し延べてすべての敵を防いで下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

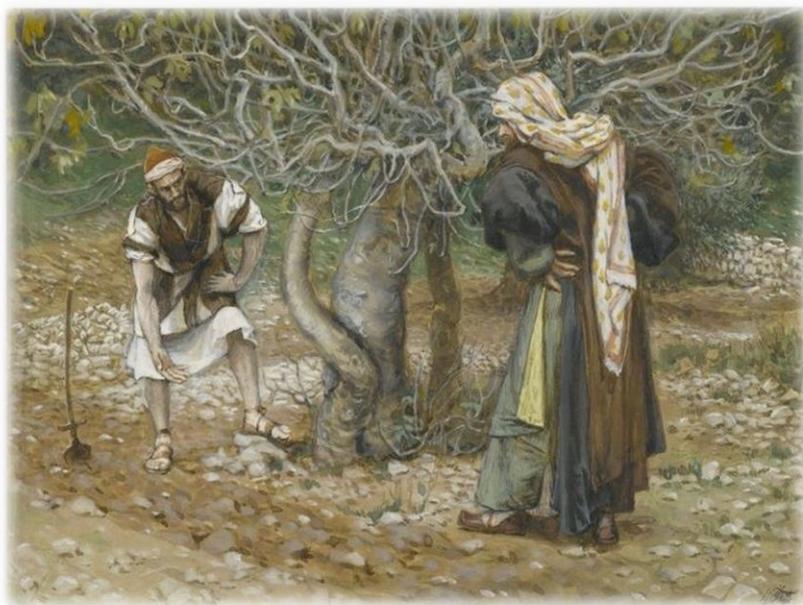
ごうがい
号外242

発行日
2025年
3月23日

私たちは、悔い改めて信仰という実がなるまで長い年月がかかってしまうかもしれません。でもイエスさまは辛抱強く「肥やし」を与えてくださることで私たちが愛し、信仰の実がなるようにしてくださっているのです。

今週の聖書 ルカによる福音書 13:1-9

1 ちようどその時、ピラトがガリラヤ人の血を彼らのいけにえに混ぜたことを、イエスに告げる者たちがあった。2 イエスはお答えになった。「そのガリラヤ人たちがそのような災難に遭ったのは、ほかのすべてのガリラヤ人とは違って、罪人だったからだと思うのか。3 決してそうではない。言っておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。4 また、シロアの塔が倒れて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいるほかのすべての人々とは違って、負い目のある者だったと思うのか。5 決してそうではない。あなたがたに言う。あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。」6 それから、イエスは次のたとえを話された。「ある人がぶどう園にいちじくの木を植えておき、実を探しに来たが見つからなかった。7 そこで、園丁に言った。『もう三年もの間、このいちじくの木に実を探しに来ているのに、見つけない。切り倒してしまえ。なぜ、土地



聖書からのメッセージ

司祭 橋本 克也

わたしたちは、人の思いを超えた世界の創造と変化や出来事のうちに生かされ生活しています。願いや希望が満たされるとき「幸い」を思い、見失ったり得られないと「不幸」を考えます。しかし、人生とは、喜ぶことや、満足、納得できることよりも、悲しみや失うこと、落胆を抱えながら歩むことが多いように思います。聖書には、その尊い命の歩みに、無条件の神の愛があり、また人が互いに愛する道があることを気づかせています。時には「もう耐えられない」という思いに駆られることもあるでしょう。この世界とすべての人びとを愛によって忍耐して待つおられる、神さまの対話の姿とお話が語られています。大齋節は、私たちが「愛の忍耐」に勇気をもって向かい合い、自分を受け入れて、喜びと希望を見出し過ごすとき「決心の時なのだ」ともいえるでしょう。

を無駄にしておくのか。』8 園丁は答えた。『ご主人様、今年もこのままにしておいてください。木の周りを掘って、肥やしをやってみます。9 もし来年実を結べばよし、それで駄目なら、切り倒してください。』